



Abalanceグループ 「2021年6月期 連結業績」、及び 「中長期戦略」について

2021年8月
Abalance株式会社
証券コード: 3856 (東証二部)

グループ連結決算概況 (2021年6月期)

■ VSUN社 新規連結(当2Q以降), 大幅な業績寄与

- 前年同期比 売上高: +302.8%の増収、経常利益: +315.6%の増益
- 2021年5月以降、ベトナム コロナ禍の影響あるも、4Q売上・利益への影響最小限に(効率化, グループ支援他)
- VSUN連結後の業績予想を上方修正 (決算同時発表)

■ 自社保有化 順調に推移(ストック型モデルの推進)

- 花畑太陽光発電所/一部区画(2020年11月連系、初年度売電収入: 約1.5億円見込)
- 角田市太陽光発電所 (2021年 3月連系、初年度売電収入: 約7.5億円見込)
- 福島市大波太陽光発電所 (2021年 6月連系、初年度売電収入: 約2.2億円見込)

(単位: 百万円)

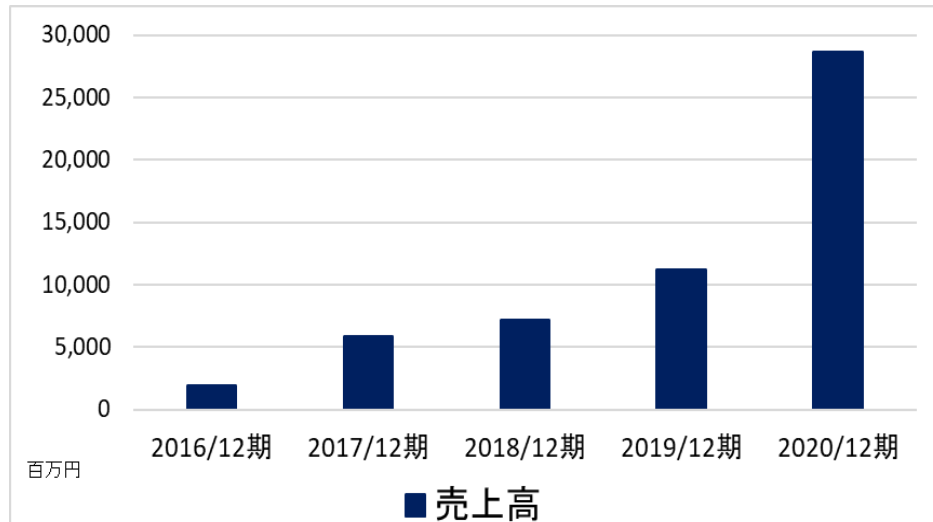
	2020年6月期	2021年6月期			
	実績	実績	前年同期比	通期計画(*)	進捗率
売上高	6,678	26,901	302.8%	23,500	114.5%
営業利益	361	1,361	276.5%	1,110	122.6%
経常利益	305	1,269	315.6%	1,080	117.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	211	537	154.4%	430	124.9%

(*) 上方修正後の公表予算数値を記載している。

ベトナムVSUN社の業績

- 当2Q以降連結 売上高:210億円, セグメント利益:7.3億円
 - 欧州向け販売拡大、近年 米国やアジア向け伸長
 - 来期は、通年で連結取込みが可能
- ベトナム証券市場 IPO(新規上場)
 - 早期の上場を想定して、現地当局や証券会社と折衝中
- 日系最大 太陽光パネルメーカー
 - 世界モジュールメーカーランク16傑(Bloomberg社集計)

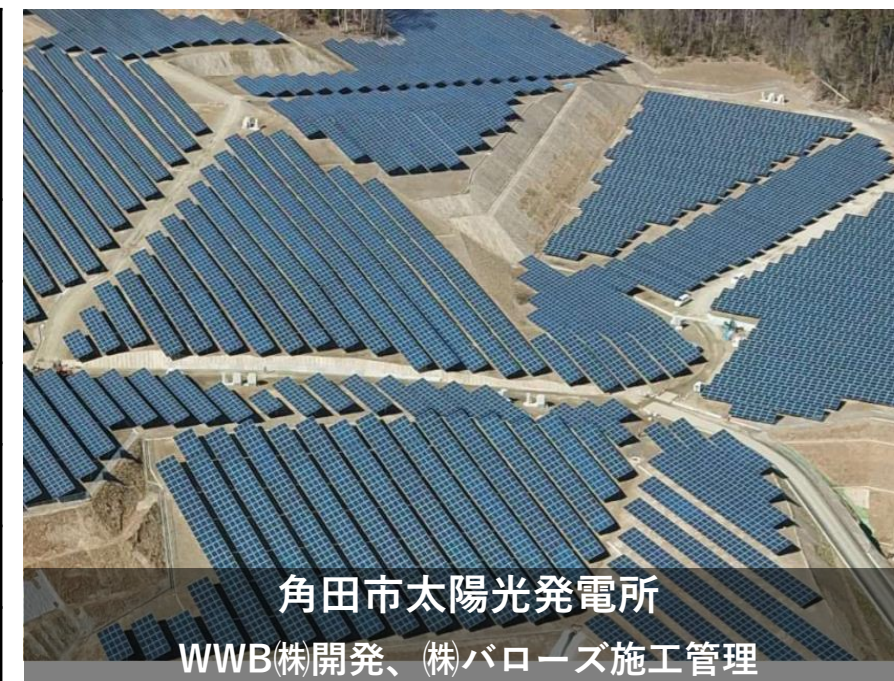
▼VSUN社 売上推移



当期連系 メガソーラー (例)

【当期】ストック型(自社保有化)への移行期
 【来期以降】メガソーラーの売電開始により、順次、実現段階へ
 ▶ 角田案件:2021年3月連系, 福島大波:同6月連系

項目/発電所名	角田市太陽光発電所	福島大波太陽光発電所
事業主体	合同会社角田電燃開発 (WWB(株) TK出資案件)	WWB株式会社
所在地	宮城県角田市小田字台	福島県福島市大波字芽久保
発電規模(DC)	約18.3MW	約5.1MW
運転開始日	2021年3月	2021年6月
FIT単価	36円	36円
年間売電収入(暦年ベース)	約7.5億円	約2.2億円
二酸化炭素削減量(トン)	約11,800トン	約3,540トン



(*)平均的な開発期間: 工事着手後 1.5~2年前後

- ◆ 世界的、かつ中長期的な再エネへの流れが加速、継続する見通し
- ◆ グリーンエネルギー事業、太陽光パネル製造事業に大きな追い風

—各国における基本方針及び施策の例として—

世界市場

- 欧州：各国において、カーボンニュートラル宣言
今後10年間、官民合わせて1兆円
- 米国：パリ協定への復帰、再エネへ大きくシフト
- 中国：2060年カーボンニュートラル宣言

国内市場

- 2050年、カーボンニュートラル宣言（2020/10月）
- 2030年度までに、温暖化ガスの排出を13年度比で46%削減（2021/4月）
- 改正地球温暖化対策推進法の成立（2021/5月）
 - カーボンニュートラルについて、「50年までの実現」を条文に明記
 - 再エネ促進区域の設定による太陽光・風力の導入拡大
- 第6次エネルギー基本計画（改訂中）
 - 2030年度の電源構成見直し（36-38%へ引上げ）
 - 主力電源化のため、最大限の再エネ導入強化

(来期) 業績予想について

⇒ グリーンエネルギー事業、太陽光パネル製造事業が、グループ連結業績をリード
 ⇒ 再エネ関連企業へのM&A、積極的に活用していく方針

【売上高】 大幅な増収見込み (⇒ 3割超増加)

【段階損益】 新規事業の先行投資を吸収し、増益見込み

- 自社保有推進、売電収入は初期実現の段階へ
- 現地コロナ禍で一時停滞していた、海外投資の加速
- 将来の新規事業への投資を合わせて実行
- 発電所請負契約に係る工事和解金の収受(10.2億円) 等

(単位:百万円)

	2022年6月期 (業績予想)	2021年6月期 (実績)	増減率(%)
売上高	35,000	26,901	130.1%
営業利益	1,400	1,361	102.9%
経常利益	1,430	1,269	112.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	858	537	159.6%
1株当たり当期純利益	161.69円	102.63円	—

(VSUN社) 生産能力の増強

- 第3工場 設備投資:約13億円, 2021年7月稼働開始
⇒ 主に、日欧米向け最先端500+W, 600+Wシリーズパネル製造に着手(一枚のパネルで500W以上, 600W以上の発電)
- VSUN生産能力: 2.6GWへ増強



来期、新規寄与 メガソーラー (例)

来期以降、売電収入20億超、射程圏に

【現 状】 自社保有の過渡期 ⇒ **【来期以降】** 順次、実現段階へ移行

- 角田案件: 2021年3月連系, 福島大波: 同6月連系
- 期中連系の為、当期PL取込みは限定的 ⇒ 来期は、通年寄与

<参考> 近年の開発事例

- 角田太陽光発電所 : 来期フル期間寄与、売電収入: 約7.5億円見込(前期, 4ヶ月計上)
- 福島大波太陽光発電所 : 来期フル期間寄与、売電収入: 約2.2億円見込(前期, 1ヶ月計上)
- 花畑発電所/一部区画 : 2020年11月連系、売電収入: 約1.5億円見込
- 河口湖太陽光発電所 : 2021年 7月連系、売電収入: 約60百万円見込
- (株)バローズ所有発電所 : 売電収入: 約3.0億円見込
- 風力案件(陸上・小型) : 売電収入: 約5千万円見込

<以下、開発中案件の例>

- 神戸発電所(MA案件) : 2021年 9月連系、売電収入: 約75百万円見込
- 蔵波太陽光発電所 : 2021年11月連系、売電収入: 約48百万円見込
- 長嶺太陽光発電所 : 2021年11月以降連系、売電収入: 約1.7億円見込
- 大和・大衡太陽光発電所: 2022年12月以降連系、売電収入: 約5.3億円見込

- 風力発電所開発、非FIT型ビジネスモデル、自家消費型太陽光発電(蓄電池設置含む)、及び省エネルギーに係る各種サービスの提供を行うESCO事業等

- バーディフュエルセルズ合同会社:
断続的自然エネルギーの平準化を目的としたグローバルイノベーション企業として新規設立し、未来の新エネルギーとして期待されるエネルギー貯蔵技術の開発を企図した投資実行

- PV Repower株式会社:
太陽光パネルのリユース・リサイクル等に係る事業を新たに開始し、太陽光パネルの廃棄抑制と有効活用を図ることにより今後の事業拡大を進める方針

(新) 中期経営計画の策定等について

- 今後の経営環境や事業環境の変化を見据えた戦略や方針を織り込み、「(新)中期経営計画」の骨子を公表させていただく予定です(2021年10月中)。
- 今後、プライム市場を目指すことは、企業価値の向上に繋がるものと考え、計画的に対応してまいります。

株主、投資家の皆さまをはじめ、関係者の皆さまには、何卒ご理解賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

- 「利益還元」と「成長資金確保のための内部留保」のバランスを考慮のうえ、**安定配当**は継続することを基本方針としております
- 2021年6月期(中間): 7円、期末: 10円

【配当実績】

対象期	親会社株主に 帰属する 当期純利益	中間配当	期末配当	配当計	(連結) 配当性向
2021年6月期	537百万円	7円	10円	17円	16.6%
2020年6月期	211百万円	7円	10円	17円	41.6%
2019年6月期	316百万円	7円	10円	17円	27.8%

免責事項

- 本資料は、Abalance株式会社の現状をご理解いただくために、当社が作成したものです。
- これに含まれる情報は当社の知見及び当社が本資料を作成した時点で入手可能な情報等から引用したものであり、その正確性を保証するものではありません。
- 今後、新たな情報や事象の発生等があった場合にも、当社は、本資料を更新する義務を負うものではありません。

